

再市花巻市・習志野再度の質問

次に地域担当制であります。

六月定例会で地域担当制を質問しましたところ、市民から：特に区に関わった事のある方々からの意見が多く寄せられ：八月二十七日から二十九日まで岩手県花巻市と千葉県習志野市を自費を使い視察してまいりました。両市とも小学校区単位に職員を配置しており、花巻市では一年九ヶ月前に一市三町が合併して、大石満雄市長の公約により「小さい市役所構想」として市内二十六ヶ所の地区公民館等を利用してベテラン職員二名を置き窓口業務を行いながら…地域コミュニティ会議・自治会活動の強化に取り組んでいました、しかも市民参画協働のまちづくりと言ふことで二十六地区に総額二億円の予算を付けて市民の自主的な活動を推進しております。

習志野市ですが、ここは昭和四十三年より地域担当制を行っており、また、まちづくり会議も平成四年より荒木勇市長の考えにより実施しております。

習志野市は市長の考え方が職員に対して仕事は二つあり、日常業務をすることは、当然だが地域に貢献し地域を良くしようとする仕事も公務員として当然の事だとおっしゃる

れておりました。

この考え方のもと、五〇〇名以上の職員が地域担当職員どちら：特に区に関わった事のある方々からの意見が多く寄せられ：八月二十七日から二十九日まで岩手県花巻市と千葉県習志野市を自費を使い視察してまいりました。両市とも小学校区単位に職員を配置しており、花巻市では一年九ヶ月前に一市三町が合併して、大石満雄市長の公約により「小さい市役所構想」として市内二十六ヶ所の地区公民館等を利用してベテラン職員二名を置き窓口業務を行いながら…地域コミュニティ会議・自治会活動の強化に取り組んでいました、しかも市民参画協働のまちづくりと言ふことで二十六地区に総額二億円の予算を付けて市民の自主的な活動を推進しております。

つて頂いたり、又、市と協働して事業等を遂行し、市と区が一体感を持つて進んでいく

以上での職員が地域担当職員として市政に反映する場とは違つております。

この九月議会で議員定数が

削減される方向ですし、若草地区地域審議委員会も地域の要望を市政に反映する場とは違つております。

今沢市長も市長と語る会（まちづくり懇談会）を各地区で開催するようですが…市長と語る会を比較的多く見てきた私としても…市民の意見を充分聞ける場と言うには疑問があります

地域市民のこれから行政との関わり方や市民の要望や意見をどのような形でやり取りしていくか？私としては地域担当制を小学校区ごとに割り当てる考えがよいのではないか今沢市長はどうに考えるか？また地区や区ごとにコミュニティ会議あるいはまちづくり会議を設置する考えはあるか。

又、それを実施した場合、現在の職員の業務体制等に支障がないか、さらに、本庁と支所のあり方等、行政組織等も含めた行政改革等とも、総合的にどのように役立つか、

又、それを実施した場合、現

が市と区の自主的な地域づくりや住民サービス向上に具体的にどのように役立つか、

おきましても、この区担当制

が市と区の自主的な地域づくりや住民サービス向上に具体的にどのように役立つか、

が「小さな市役所を」と言うマニフェストのもと、この四月からスタートした制度であり、市内を小学校単位規模の二六地区に分け、各地区に振興センターを設置しております。

が、「小さな市役所を」というマニフェストのもと、この四月からスタートした制度であり、市内を小学校単位規模の二六地区に分け、各地区に振興センターを設置しております。

お示しいただいたどちらの自治体も市民と行政の共存を目指し、職員の地区担当制を実施されていますが、本市では地区的窓口となつている支所の今後のあり方等も考慮し、各地区的活性化に具体的にどう役立つか、又、現行の職員業務体制等に支障がないか等、十分検討し判断していかなければならぬのが実情だと思います。

次に、地区ごと、区ごとに地域コミュニティ会議あるいはまちづくり会議を設置する考えは、についてですが、十分検討し判断していかなければならぬのが実情だと思います。

地域コミュニティ会議あるいはまちづくり会議を設置する考えは、についてですが、十分検討し判断していかなければならぬのが実情だと思

う役立つか、又、現行の職員業務体制等に支障がないか等、十分検討し判断していかなければならぬのが実情だと思

するように担当課が指示し、職員も住居地に関わらず担当にあたり、地域の声を直接聞くとも合わせて、区長会等地域の皆様と共に、更により良い南アルプス市を考えて参ります。

